

# 注意報

長崎県病害虫防除所長

平成20年度病害虫発生予察 注意報第1号

## 水稻（早期・普通期） ヒメトビウンカ・縞葉枯病

- 1. 発生地域（対象地域） 県下全域
- 2. 発生程度  
ヒメトビウンカ 多  
縞葉枯病 やや多

### 3. 注意報発令の根拠

- (1) 5月中下旬の小麦圃場及びイネ科雑草地（19地点、1地点当たり3～5圃場）におけるヒメトビウンカ（第1世代）の生息密度は、捕虫網による20回すくい取りあたり39.3頭（平成8.9頭）であった（図、表）。
- (2) イネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率検定（ラテックス凝集反応法）の結果、保毒虫率は1.0%（平成1.3%）であった（図、表）。
- (3) 6月上旬の巡回調査（41筆）の結果、早期水稻におけるヒメトビウンカの株当たり虫数は0.5頭（平成0.0頭）、発生圃場率は80.5%（平成14.0%）であった。縞葉枯病の発生は認めなかった（平成発生を認めない）。
- (4) 6月3半旬の県予察圃場（諫早市、早期水稻、無防除）調査の結果、ヒメトビウンカの株当たり虫数は0.0頭（平成0.0頭）、縞葉枯病の発生は認めなかった（平成発生を認めない）。
- (5) 6月5日のネットトラップ（諫早市）でヒメトビウンカが63頭捕獲され、6月では過去10年間で1日あたりの捕獲量としては最も多い。

### 2. 防除対策

- (1) 今後、移植を行う圃場ではウンカ類に効果のある箱施薬剤を必ず施用する。
- (2) 圃場でのヒメトビウンカの発生状況に注意し、発生が多い場合には防除を行う。
- (3) 発病株を認めた場合は抜き取る。
- (4) 窒素過多を避け適正な肥培管理に努める。

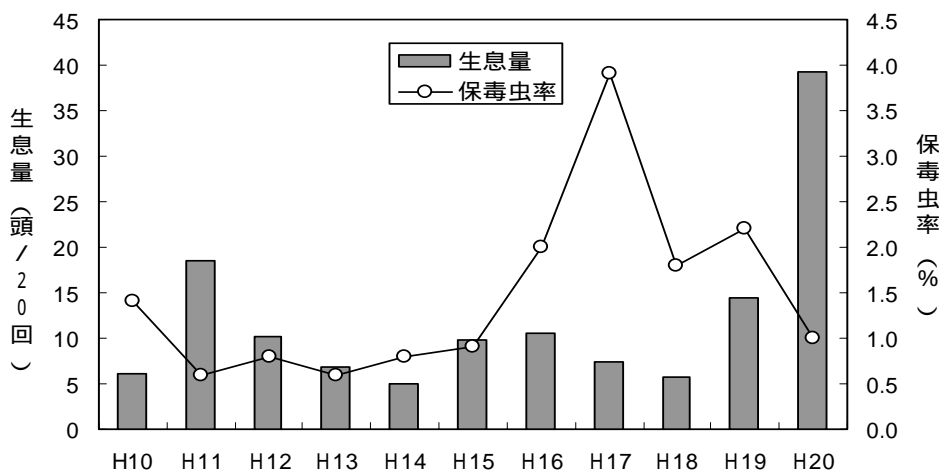


図 小麦圃場及びイネ科雑草地におけるヒメトビウンカ(第1世代)の生息量及びイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率の推移

表 各地点のイネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率と生息密度

調査地点	検定虫数(頭)	保毒虫率(%)	生息密度 <sup>注)</sup>
長崎市琴海戸根町	100	0.0	9.1
長崎市神浦丸尾町	97	2.1	4.7
西海市大瀬戸町	-	-	0.1
諫早市小野島町	150	0	151.0
諫早市森山町	200	1.5	140.0
諫早市多良見町	200	2.0	5.1
諫早市小船越町	150	0	184.0
大村市鈴田	200	2.0	144.9
東彼杵町三根	64	1.6	8.9
波佐見町岳辺田	200	0.5	66.8
雲仙市国見町神代	149	0.7	16.7
佐世保市長畑町	165	1.2	12.1
佐世保市重尾町	-	-	0
松浦市御厨町	59	0	0.9
平戸市紐差町	-	-	0.9
五島市本山	-	-	0.1
五島市富江町	-	-	0
壱岐市郷ノ浦町大原	-	-	0.6
壱岐市石田	-	-	0.6
合計(平均)	1734	1.0	39.3
平年	-	1.3	8.9

注) 生息密度は20回すくい取り当たりの頭数  
保毒虫率検定はラテックス凝集反応法による

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027